

第 283 回 日本医科大学武蔵小杉病院 薬物治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時・場所	2026 年 7 月 22 日（水）14：00～15：00 Webex®を使用した Web 面談方式と 日本医科大学武蔵小杉病院 5 階第 2 会議室・対面方式でのハイブリッド形式にて開催
出席委員名	齋藤好信、宮内秀典、先崎貴洋、泊瀬川紀子、堀あすか、渡部百合子、加藤瑞穂、金子勲、竹内千里、松原成予(敬称略、順不同)

審議事項		審査結果
勝俣委員は議題 4、11 の責任医師、渡部委員は議題 2、5、7 の協力者であるので、この案件については審議・採決に参加していない。		
議題 1	エーザイ株式会社の依頼による早期アルツハイマー病患者を対象とした BAN2401 の第Ⅲ相試験	承認
	安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
議題 2	バイオジェン・ジャパン株式会社の依頼によるアルツハイマー病患者を対象とした BIIB080 の第Ⅱ相試験	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 説明文書・同意文書の改訂 ・ 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき審議	
議題 3	協和キリン株式会社（治験国内管理人）の依頼による成人及び青少年アトピー性皮膚炎患者を対象とした AMG451 の第Ⅲ相試験	承認
	安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
議題 4	MSD 株式会社の依頼による、MK-3475 を用いた治験に参加した患者を対象とした第Ⅲ相試験	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 治験実施計画書の改訂 ・ 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき審議	
議題 5	インサイト・バイオサイエンスジャパン合同会社の依頼による結節性痒疹患者を対象とした INCB54707 の第Ⅲ相試験	承認
	当院で発生した重篤な有害事象について治験薬と因果関係は否定できないが治験継続可能とした治験責任医師の見解に基づき審議、またその他の安全性情報についても治験責任医師の見解に基づき審議し、引き続き治験を実施することを承認した。	
議題 6	小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象として、JR-142 の週 1 回投与とグロウジェクトの連日投与とを比較する第Ⅲ相臨床試験	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 治験実施計画書の改訂 ・ 説明文書・同意文書の改訂 ・ 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の改訂	

議題 7	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるアルツハイマー病患者を対象とした KarXT + KarX-EC の有効性及び安全性を評価する第 3 相試験	承認
	安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
議題 8	日本イーライリリー株式会社の依頼による 1 型糖尿病のリスクのある方を対象 とした LY3009104(バリシチニブ)の第 3 相試験	承認
	安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した	
議題 9	日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象とした NS-304 の第Ⅲ相試験（二重盲検比較試験）	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の改訂 ・ 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき審議	
議題 10	日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象とした NS-304 の第Ⅲ相試験（オープンラベル試験）	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の改訂 ・ 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき審議	
議題 11	進行又は転移性乳癌に対する全身抗癌治療歴のない進行又は転移性 HR+/HER2-乳癌患者を対象に BGB-43395+レトロゾールの有効性及び安全性を CDK4/6 阻害薬（アベマシクリブ、パルボシクリブ、ribociclib）+レトロゾールと比較して検討する第Ⅲ相、非盲検、無作為化、多施設共同試験	承認
	以下について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した ・ 治験実施計画書の改訂 ・ 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき審議	
議題 12	argenx BV の依頼による抗甲状腺薬でコントロール不十分なグレーブス病成人患者を対象とした efgartigimod PH20 SC PFS の第Ⅲ相試験	承認
	安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
議題 13	早期の認知機能低下が認められ、Lewy 小体型認知症の中核的な臨床的特徴を 1 つ以上有し、 α -シヌクレインとアミロイドの共存病理が確認されている治験参加者を対象に、ドナネマブの安全性及び有効性を評価する第 2 相無作為化プラセボ対照臨床試験	保留
	治験実施計画書に基づき治験実施の妥当性について審議した。	
報告事項		
1	IRB 委員交代	